

世界の国は COVID-19 に関する外国人嫌悪の表現に対して措置を講ずるべきである

テンダイ・アチウメ

現代的形態の人種主義、人種差別、外国人嫌悪および関連する不寛容に関する国連特別報告者

2020年3月21日

国際人種差別撤廃デーの3月21日、テンダイ・アチウメ人種差別に関する国連特別報告者は声明をだし、世界の政府に、COVID-19（新型コロナウイルス）のパンデミックへの対応が外国人嫌悪と人種差別の一因にならないよう確保をし、すべての政策および通達などを通して、外国人嫌悪を根絶するよう呼びかけました。

新型コロナウイルスのパンデミックによる危機は、私たちは皆なつながっていること、私たち一人ひとりの健康と安心は相互依存していることを再認識させてくれます。

アメリカ大統領を含み、国の当局者が新型コロナウイルスに別の名称をつけていることに失望させられます。国際的に認められたものではなく、地理的に関連付けた名称、典型的には中国での発生に関連づけた名称を使っています。

この種の計算された地名に基づく名称の使用は人種差別と外国人嫌悪に根ざしており、それを助長するものです。この場合、こうした呼称は、中国人あるいは東アジア系と思われる人を隔離し、非難を浴びせることとなります。

このような無責任で差別的な国の巧言を些細な問題と片付けてはなりません。2015年にWHO（世界保健機関）が述べたように、「病名は直接影響を受ける人々にとって本当に重大な問題です... 特定の病名は、特定の宗教や民族集団のメンバーに対する反発を引き起こします... これは、人びとの生活や生計に深刻な影響を及ぼす可能性があります。」

これらの結果はすでに現実のものとなっています。過去2カ月間、中国人またはその他の東アジア系の人であると認識される人びとは、ウイルスに関連する人種差別的および外国人嫌悪的な攻撃を受けています。これらの攻撃は、憎悪に満ちた中傷からサービス提供の拒否、残忍な暴力行為まで多岐にわたります。

新型コロナウイルスに関連した人種差別および外国人嫌悪のオンラインでの表現には、ハラスメント、ヘイトスピーチ、差別的なステレオタイプの拡散、および陰謀論が含まれています。驚くことではないが、新型コロナを特定の国または民族集団のせいにしてしようとしている指導者は、人種差別や外国人嫌悪のレトリックを政治的なプラットフォームの中心に据えてきた、まさに同じ民族主義的ポピュリストの指導者たちです。

特定の集団を非難し、排除し、暴力に対してより脆弱にする新型コロナ流行への政治的対応は、言い訳ができるものではないし、無責任であり、国家が負う国際人権法の義務と矛盾します。

さらには、恐怖を煽り、すべての人びとの平等を損なう政治的なレトリックと政策は逆効果です。新型コロナウイルスを効果的に治療し、感染拡大に対処するために、差別の心配なく、正確な健康に関する助言と十分な医療にすべての個人がアクセスできなければなりません。

国際人種差別撤廃デーを記念して、各国は、すべての人の平等の達成をめざした私たちの共同の義務を再確認し、その仕事が未完のままであることを認めなくてはなりません。世界中の国々がこのパンデミックを終わらせるために協力して取り組んでいるなか、私はすべての当事者に、その努力が人種差別や外国人嫌悪をうけない自由を含む、総合的な健康と幸福に資するよう確保することを求めます。